

ファンティック、モトクロスチームを刷新。  
2025 年シーズンのランキング 3 位となったコルデンホフの引退に伴い、  
新たに JM Racing とファクトリー契約を締結。



ファンティックは 2026 年シーズンもモトクロスの世界選手権の最上位クラスである MXGP にコミットする。ファクトリーチームは新たに JM Racing とタッグを組み、二人の新しいライダーを迎えて 26 年シーズンを戦う。若手ライダーの登竜門、EMX も顔ぶれを一新させ、新たな才能を発掘していく。

新鮮なスタートであるとともに、そこに流れる情熱とチームを動かし続ける体制には変わりはない。ファンティックは、MXGP クラスへの挑戦を継続させることを発表した。2025 年シーズン、7 度の表彰台、初のヒート優勝、ランキング 3 位を獲得したファンティックレーシングチーム MXGP は、新しいパートナーとともに 2026 年シーズンを戦うことを発表した。

タッグを組むのは、パドックでもよく知られ長年にわたってこのレースのリーダーを務めてきた、1993 年の 500 cc クラス世界チャンピオンでもあるジャッキー＝マルテンスが率いる JM Racing だ。チームは 26 年シーズンに向け、25 歳のイタリアン、アルベルト＝フォラートと、チームオーナー、マルテンスと同郷のベルジャン、29 歳のブレント＝ファン・ドニンクを走らせる。

ファンティックは新たなページをめくろうとしている。そして、レースでの活躍は、我々の会社としてのヴィジョンの中でも最も重要なピースなのだ。ファンティック・モーター社の CEO を務めるコンスタンティーノ＝サンバイは語っている。「我々はレースへのコミットメントを再確認し、世界選手権のパドックに我々のロゴがある戦略的価値を重んじている。レース・トラックで紡ぎだされるパフォーマンスはもちろん経験豊かなチームをプロフェッショナルライダーたちが極めて高いレベルで提供して初めて生まれていくもので、これは我々に一言では言い表せない価値をもたらしてくれるだろう。ここでの経験と知識は我々の商品に直接的に作用し、継続的な進化は我々のライダーばかりかその商品を求めるカスタマーすべてに恩恵をもたらすはずだ。これこそが我々がレースに投資を続け、また将来にわたるブランドの存在意義の一つと数えているゆえんなのだ」

ファンティック・モーターのレーシング部門総責任者であるマリアーノ＝ロマーノは、ジャッキー＝マルテンスとの新しい挑戦への興奮を隠せない。「間違いなく欧州におけるモトクロスの歴史に名を残すチームとのコラボにはワクワクが止まらないよ！このチームからは過去も多くのチャンピオンが生まれてきたし、マルテンスは我々の新しい二人のライダーともさらに上を目指して全力で戦ってくれるはずだ。ライダーたちは怪我から復帰したてだが、この新しい冒険には誰もが期待を抑えられずにいるんだ」

ファンティックはまた、EMX125 クラスへの挑戦を継続する。2025 年シーズンと同様、ダニエル＝マルチーゾの指揮下で 2 台の XX125 を走らせ、タイトル獲得を狙う。担うのはデンマーク出身の 15 歳、ベルトラム＝ソリウスと、16 歳のシシリアン（イタリア）、イタリア選手権のジュニア 125 チャンピオンを獲得したジェナーロ＝ウテックだ。

「このカテゴリーを同じ仲間と共に戦うのは素晴らしいことだ。2020 年以来、3 回のタイトルを獲得してきた我々は、今やだれもが認めるトップコンテNDER だからね。このクラスのトップ争いを我々のファンティック・レッドが彩ることが、我々の目標なんだ。もちろん簡単なことではないけれど、それを成し遂げられるチームがここにはあるよ」とロマーノは付け加えた。

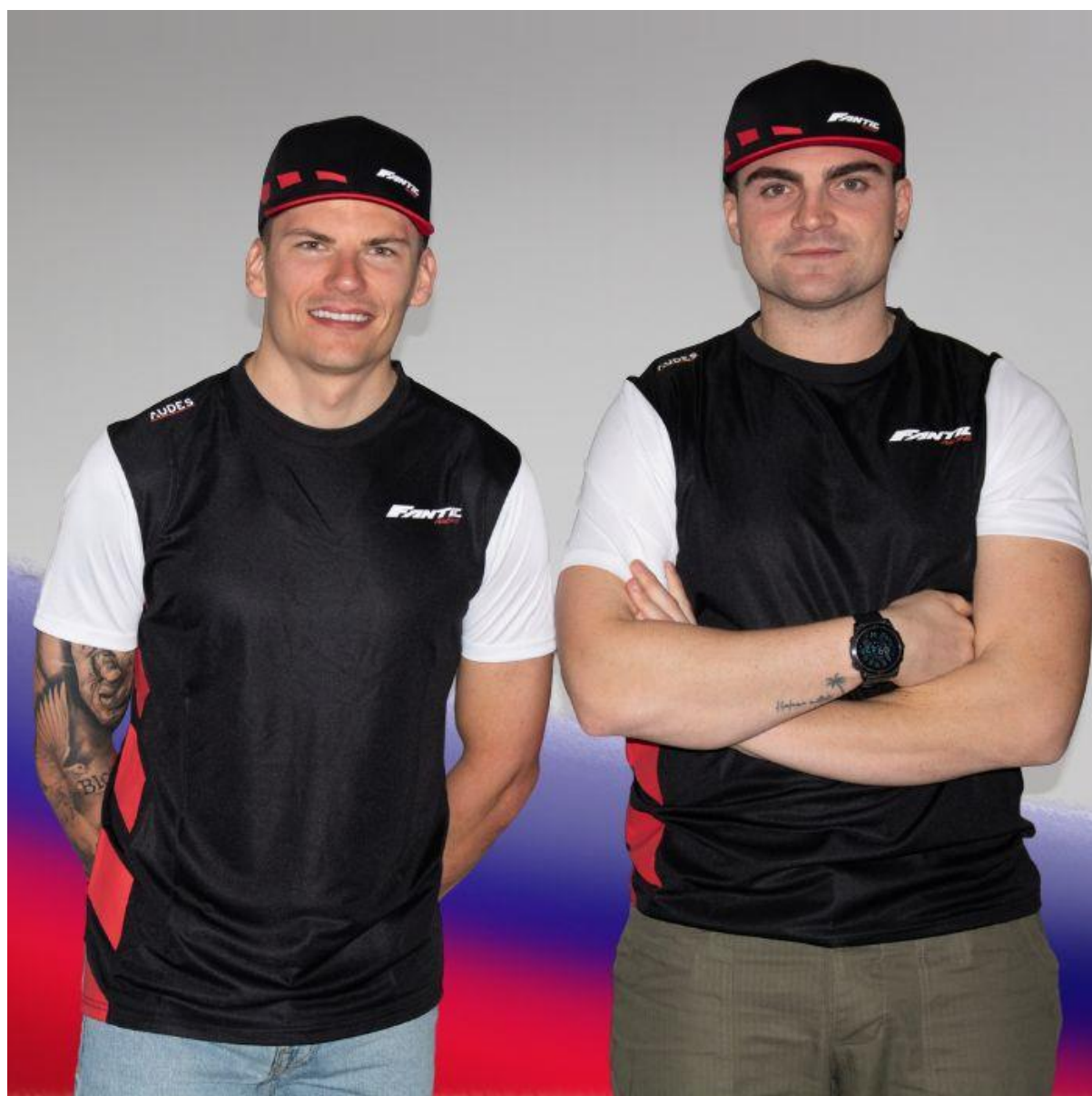
## **ジャッキー＝メルテンス：ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP チームオーナー**

「チームがファンティックとタッグを組めて、本当にうれしいね。我々が求めてきたポジション、すなわちファクトリーチームとして R&D と密接に仕事をしながらさらにマシンの開発を進めていく、これがいつも目標だったからね。ファンティックはすでに十分に戦えるマシンという評価を得ているし、それは今年の

シーズンの素晴らしいリザルトでも証明できている。とはいえ、ライダーもチームも変わる、新しいチャレンジがこれから控えているんだ。もちろん、それはモチベーションにもつながっている。イタリアでファクトリーで働く人々と数日過ごし、ミーティングを重ねたけれど、間違いなくファンティック・ファクトリーとJM Racing は素晴らしい未来をともに築き上げられると確信しているよ。チームの二人のライダーにも満足だ。アルベルトとはすでに過去何度か接触していて、これまではチームに加わるタイミングを得られなかった仲なんだ。我々がファクトリーチームになるこのタイミングで彼が加わるというのも縁なんだね。ブレントはすでに私たちのチームで3年間走ってきているから気心も知れているし、ちょうど怪我から復帰したところなんだ。彼らが乗ることでチームには計り知れないほどの底力があることを見せられると思うね。」

## ブレント=ファン・ドニンク

「ファンティック・ファクトリーレーシングに加われて本当にハッピーだ。プレミア・クラスでファクトリーライダーになることはずっと夢に描いてきたことだからね。僕自身、JM Racing で3年間走ってきて、このチームのみんなとはなじみも深いから、開幕が楽しみなんだ。もちろんファンティックのみんなとの出会いも素晴らしいものだったよ。テストの最初の2日間は本当にポジティブで、マシンを十分に信頼することができた。ファンティックは本当に戦闘力が高く、いいスタートを最高の結果で切ることができそうだよ。26年シーズンと、この素晴らしい機会に興奮しているし、シーズンを素晴らしいものにできる自信にあふれているよ。」





## アルベルト＝フォラート

「この新しい挑戦には本当にワクワクしているんだ。もうすっかり怪我はよくなって、膝もばっちりだから、早く乗り始めたくて仕方がないよ。基本はすっかり仕上がって、あとはチャレンジ。もうその準備ができているんだ。イタリア人ライダーにとって、イタリアのブランドで働くことを夢見るのは当然だし、ファンティックと僕は同じ地域、ヴェニス出身だからなおさらだよ。もうすでに自分の家に帰っているかのような気分さ。本当にファンティックファミリーに加わるのがうれしいし、経験豊かな素晴らしいチームであるジャッキー＝マルテンスのチームであることも心強い。我々はこの組み合わせで最高の仕事ができるに違いないね。」

## ダニエル＝マルチーズ：ファンティック・ファクトリーレーシング EMX チームオーナー

「この仕事を継続できることに、また新しい若い才能あるライダーをファンティックとともに走らせられることが楽しみでならないね。2026 年シーズンは 125 cc に集中して、まったく新しいライダーを二人走らせるんだ。2 台の XX125 を用意して、一人はすでにイタリア国内選手権でタイトルを獲得してきた有望株、もう一人は将来性高いデンマークの若者だ。もうすでに二人のライダーを走らせ始めていて、堅実に、でもそれ以上に成功したシーズンを送れるという、自信を深めているよ。」



## ベルトラン＝ソリウス

「ファンティック・ファクトリーレーシング EMX チームでの来シーズンが待ち遠しい。マシンのテストのためにイタリアで過ごしてきたところなんだけど、フィーリングはよくて、シーズン開幕が待ちきれないね。来年は常にトップ 10 を走れるようにして、出来る限りトップ 5 に食い込めるようにになりたいんだ。このためにデンマークからイタリアに引っ越して、チームのそばで過ごすことにしているんだよ。なんと言っても最高の結果を残せるよう、意思疎通がインスタントにできないとね。でもともに働くことが最高の結果を導いてくれるはずさ。」

## ジェナーロ＝ウテック

「ファンティック・ファクトリーレーシング EMX に加われてうれしいよ。最初の印象は本当にポジティブで、チームとの関係も極めて快適なんだ。マシンのフィーリングもいいね。これをさらに向上させて、フィーリングと僕自身のフィジカルをレベルアップさせていけるよう、全力を尽くしていくよ。そうすれば来年のヨーロッパ・チャンピオンシップの獲得は目の前にあるはずだからね。」